

## 仏教の世界観と聖書的世界観

— 日本型仏教と日本人の宗教観 —

### アウトライン

1. はじめに — 私が何故、仏教に興味を持ったのか? —
2. 一般的な日本人の宗教観について
3. 釈迦の誕生から入滅まで

---

4. 根本仏教は哲学である
5. 仏教が示す死後の世界
6. 仏の種類
7. 根本分裂から部派仏教へ

---

8. 仏教はいつ日本に伝播したか — 鎮護国家として発展していく仏教 —
9. 日本における伝統的仏教の推移

---

10. 江戸幕府における寺請制度ができるまで

---

11. 仏教行事、作法の意味
12. 主な新興宗教団体について
13. 聖書的世界観・歴史観
14. 結論 宗教とは

---

### ゴール

自力本願を目指す一般的な日本人の精神性を理解し認めつつ、仏教および習慣化されている仏教行事の意味を知り、クリスチャンとして、やるべきことは何かを考え行動する

#### 1. はじめに — 私が何故、仏教に興味を持ったのか? —

- 真理は一つ、色んなアプローチがあっていいではないか。
- 一神教が、世界の秩序を混乱させているという誤解

#### 2. 一般的な日本人の宗教観について

- 2008年5月30日読売新聞の世論調査「あなたは死んだ人の魂はどうなると思いますか？」

消滅する	17.6%
別の世界に行く	23.8%
生まれ変わる	29.8%
墓にいる	9.9%
魂は存在しない	9.0%
答えない	9.1%
その他	0.9%

- 祖先崇拝
- 信仰の対象よりも信心深さに重きをおいている日本人。
- 八百万の神 自然界に対する畏怖の念。宗教的に無知、未熟なのではない。

### 3. 釈迦の誕生から入滅まで

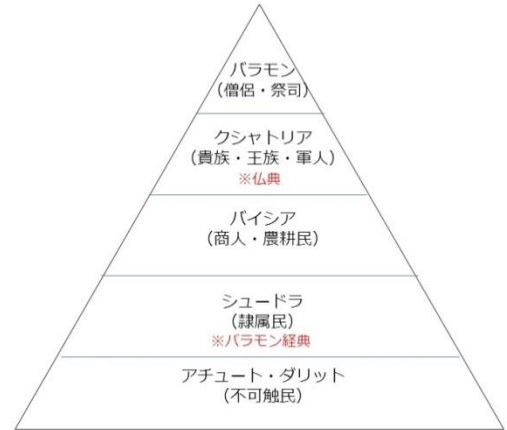
- 地理的 時代背景

紀元前 3000 年頃栄えたインダス文明が滅び、同 1200 年頃から遊牧民のアーリア人が侵入。北部を東西に流れるインダス川とは別に北部から南北に流れるガンジス川流域に勢力を伸ばす。アーリア人は武力的支配より同化策をとり、このため小さな釈迦のシャーキャ族は国として存在を許されていたものの、当時大国だったコーサラ国、マガダ国にはさまれ、何時滅ぼされるか分からない状況にあった。※コーサラ国によって滅ぼされる。

BC587 バビロン捕囚 BC538 バビロンより帰還  
ペルシア帝国⇄都市国家ギリシア  
周王朝、春秋時代（孔子、老子）

- 宗教的背景

インドは、バラモン教の時代  
輪廻／カースト制 功德は祭司への貢ぎ



- 釈迦（ガウタマ・シッタールタ）

紀元前 7 世紀—紀元前 5 世紀頃、シャーキャ族の王子として誕生。（現在のネパールのルンビニ）  
29 歳で出家 苦行→ 35 歳で悟りを開いたとされる。  
その後、自らの覚りを伝道し、80 歳で入滅したと言われている。  
BC544（南伝）BC486（北伝）BC386、383

### 4. 根本仏教は哲学である

- 三法印 諸行無常 諸法無我（実体・本質がない） 涅槃寂静（自覚 悟り）  
四法印 一切皆苦

- 四苦八苦

生 老 病 死  
愛別離苦 怨憎会苦 求不得苦 五蘊盛苦

- 四諦（苦集滅道）

→八正道  
正見 正思 正語 正行 正命 正精進 正念 正定

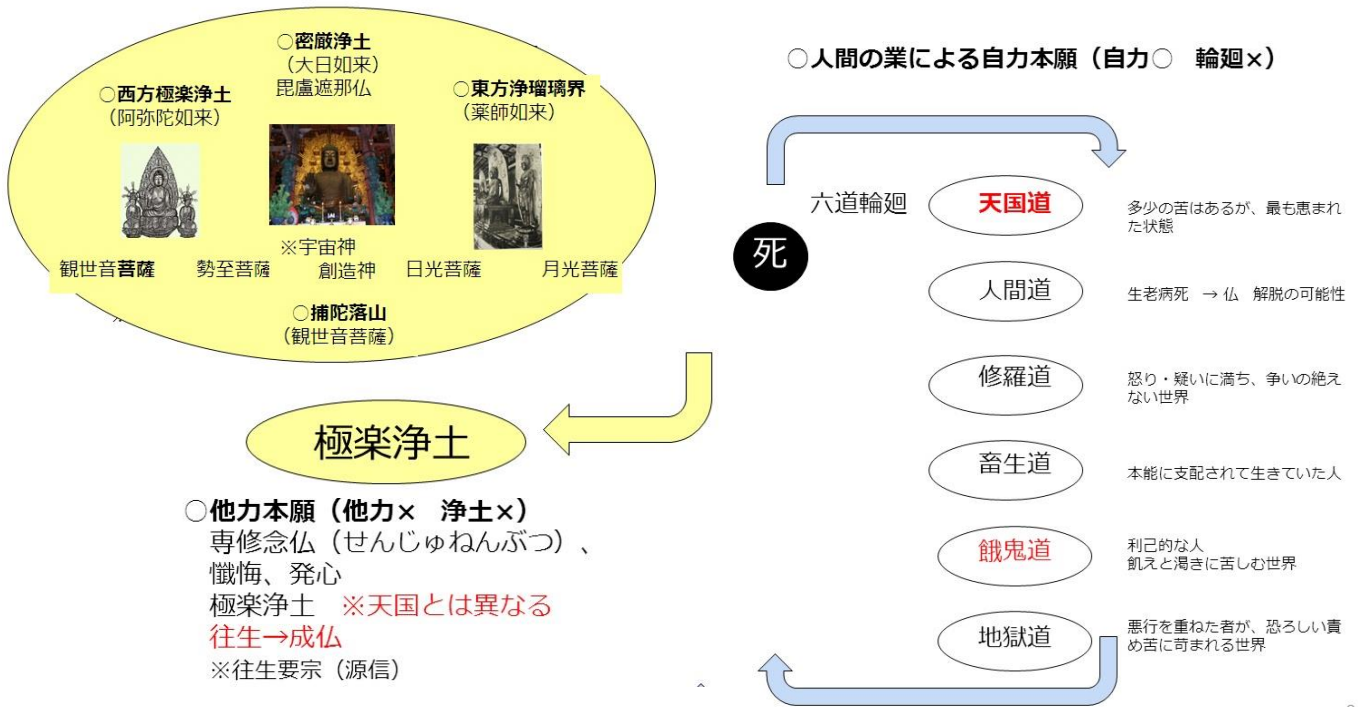
- 毒矢の譬え

人はどこから来てどこへ行こうとしているのか、形而上学的な問いには、一切答えていない。

## 5. 仏教が示す死後の世界

釈迦の遺言「すべては移ろいゆくもの、 怠ることなく修行を完成させなさい。」

死後の魂を否定している。偶像礼拝を戒めた。

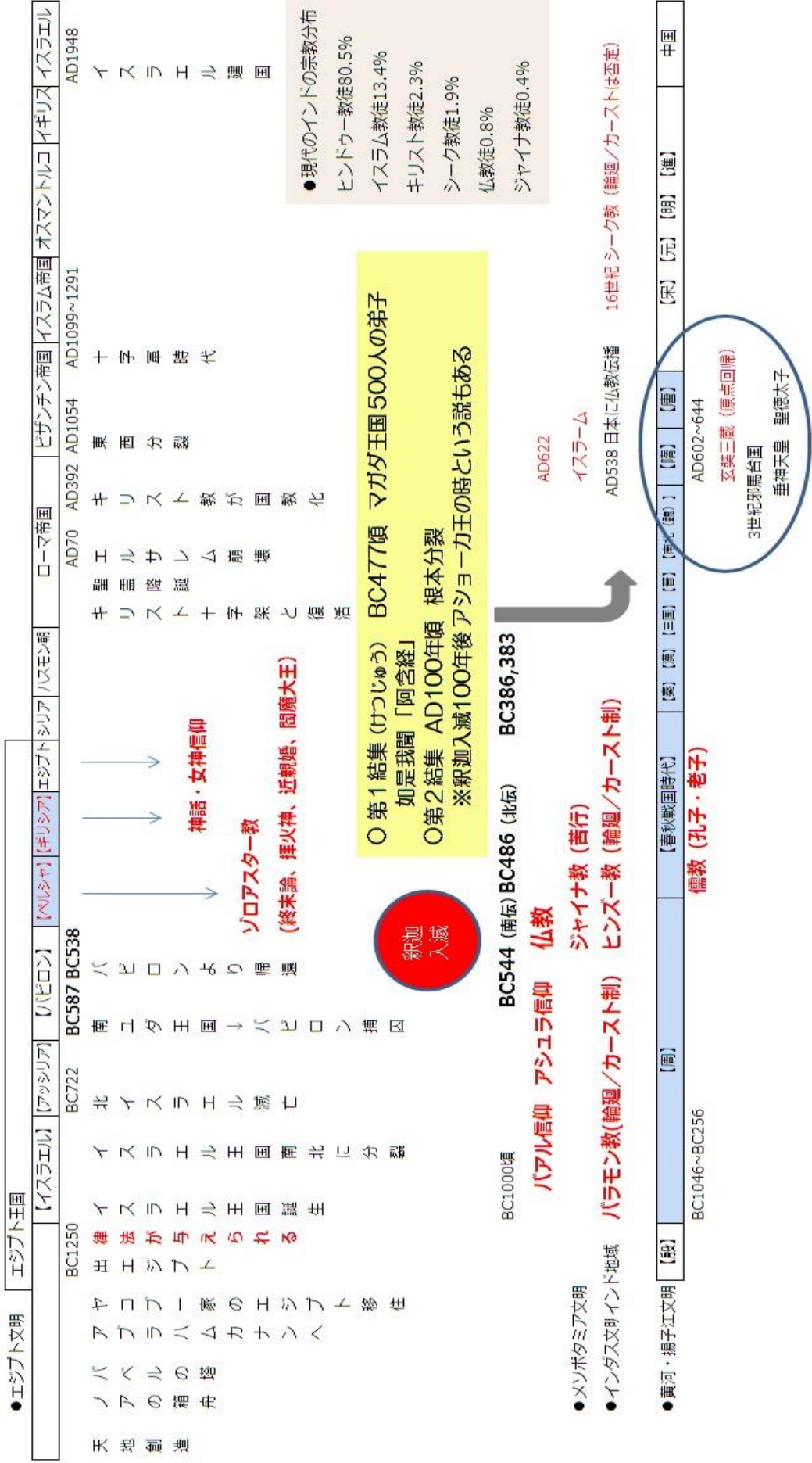


## 6. 仏の種類

- 如来「覚りを得たもの 真実から来るもの」  
 阿弥陀如来 釈迦如来 薬師如来
- 菩薩「修行者として人間を助けるもの」  
 弥勒菩薩 観世音菩薩 地藏菩薩
- 明王「仏教を実行するもの」  
 不動明王、愛染明王
- 天 「仏教の守護役、バラモン教の神々」  
 帝釈天 毘沙門天 ※七福神

# 7. 根本分裂から部派仏教へ

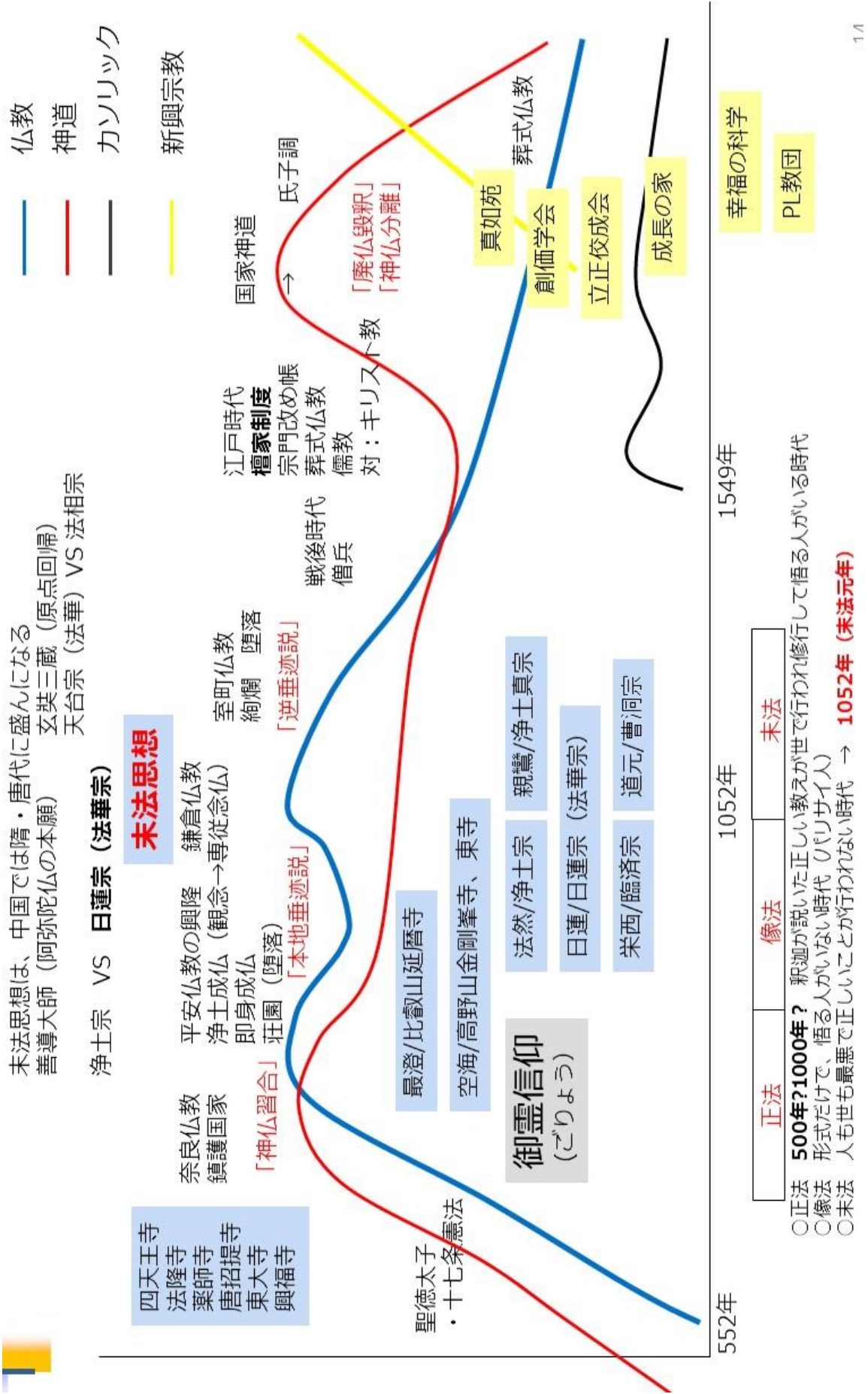
●333年BC アレクサンダー大王がバビロニアを滅ぼす  
アレクサンダーの死後、帝国は3つに分かれる→ヘレニズム3国 (アンティゴノス朝マケドニア王国、セレウコス朝シリア王国 (ユダヤ支配)、プトレマイオス朝エジプト王国)



## 8. 仏教はいつ日本に伝播したか — 鎮護国家として発展していく仏教 —

- 元興寺伽藍縁起や上宮聖徳法王定説では、538年。  
日本書記（720年編纂）では、552年。  
※藤原不比等、元明天皇らによる改ざん
- 公的に日本へ仏教を伝えたのは、朝鮮半島にあった百済の聖明王が、当時の欽明天皇に  
仏像（阿弥陀三尊像）や経典を贈ったのが最初。
- 仏教伝播当時から政治と密接に関係していた
- 天皇の加護 仏教による鎮護国家
- 遣唐使

9. 日本における伝統的仏教の推移



## 10. 幕府における寺請制度ができるまで

- 「一向一揆」 1466年～1575年  
戦国時代に浄土真宗本願寺教団（一向宗）が起こした一揆の総称  
※信長はじめ後の権力者に宗教的決断力の怖さを認識させた。
- 「ザビエル来日」 1549年  
1586年秀吉もイエズス会に布教許可を与える
- 「バテレン追放令」1587年にバテレン追放令を発布。  
大名の改宗（一向一揆を彷彿） 神社仏閣の破壊  
ただし南蛮貿易の実利を重視。宣教は黙認
- 「スペイン船 サンフェリペ号事件」1596年 土佐沖に漂着、浦戸湾内で座礁
- 「第2バテレン追放令」 特にフランシスコ会に対して 26 聖人の殉教
- 「本山末寺の制」  
江戸幕府が仏教各宗派を統率する目的で制定 天台宗 天海、臨済宗 金地院崇伝  
本山に住職の任命権と財産管理の権利を与える → 切支丹信者を探し出して転宗させる
- 「島原の乱」 1637年 切支丹3万人による大反乱
- 「寺請制度」  
すべての日本人は、神主まで含めてどこかの寺に登録  
寺がこの人は切支丹ではないと身分証明を請け負う。  
寺請証文は、関所手形発行の際や婚姻の際などの場面で必要とされた。  
→「宗門人別改帳」現在の戸籍の役割 ※寺の利権。戒名制度。葬式仏教化。

## 11. 仏教行事、作法の意味

- 「戒名」— 本来は、生前に受戒し、出家したものが授かるもの  
江戸時代に死後戒名が制度として確立したので、今は、あの世での名前という使われ方になっている。（俗名はこの世の名）  
浄土真宗では、「法名」、日蓮宗では「法号」  
『東照大権現 安国院殿徳蓮社崇譽 道和大居士』『茲唱院美空日和清大姉』
- 「枕経」— 得度。出家するという儀式。
- 「末期の水」— 釈迦が入滅する際に、喉の渇きを訴えていたことから。安らかな往生を願う。
- 「葬式」— ①宗教的には、出家支度、訣別の儀式  
②社会的、物理的、精神的側面  
③宣教的 側面

- ・「焼香」— 釈迦や直接の弟子によって書かれた経典はない
  - ①死者や釈迦へのお供え物（五供 1.香 2.花 3.灯燭 4.浄水 5.飲食 おんじき）
  - ②死体の悪臭を和らげる
  - ③死者や仏、すべての先祖を礼拝する儀式
  - ④焼香する人を清めるもの（浄土真宗）
- ・「四十九日」— 道教の中陰説（死者の行き先が決まるまでの四十九日を中陰と呼ぶ）※満中陰
- ・「お盆」— 盂蘭盆経 中国の道教（考）の影響を受けて創作されたお経  
 釈迦の弟子の一人の目連がなぜか餓鬼道に落ちた亡き母を比丘供養を行うことで救ったという話に由来。

## 12. 主な新興宗教団体について

（文化庁宗教年鑑）

【幸福の科学】 1100万人 大川隆法

キリスト、釈迦、孔子、モーゼ、天照大神、親鸞、道元、出口王仁三郎、日蓮

【創価学会】 827万世帯 池田大作

日蓮宗（本仏は久遠実成の釈迦牟尼仏）→

日蓮正宗（本仏は日蓮大聖人）→創価教育学会（牧口常三郎）→

創価学会（戸田城聖）→創価学会（池田大作、大石寺の日顕上人と反目）

【立正佼成会】 409万人 元霊友会。法華経、姓名判断・方位学・易学等と霊能

【霊友会】 153万人 法華経、霊媒信仰、先祖供養

【天理教】 120万人 おふでさき 神がかり

【PL 教団】 98万人 大元霊（みおやおおかみ）一切の根元で宇宙を統一した神

【真如苑】 87万人 涅槃経、本仏多数、接心、霊能

【世界救世教】 84万人 おひかりさま 大本 自然食品

【成長の家】 74万人 大本 宗教・哲学・心霊学・精神分析学。生命の実相



### 13. 聖書的世界観・歴史観

#### ・ギャップセオリー

##### 創世記

1:1 初めに、神が天と地を創造した。

1:2 地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上であり、神の霊が水の上を動いていた。

1:3 神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。

##### エゼキエル

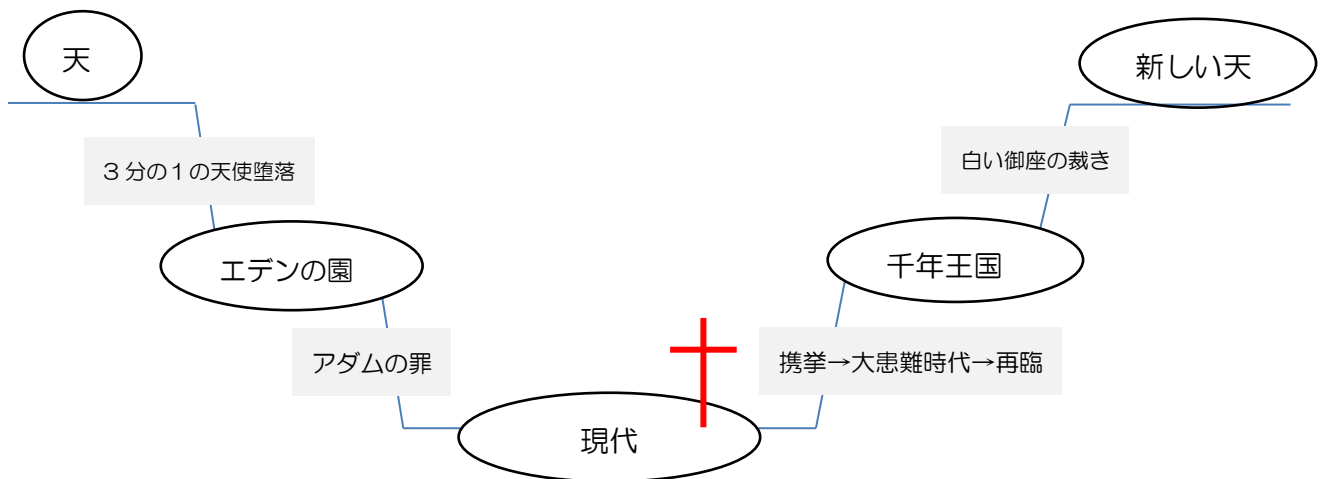
28:13 あなたは神の園、エデンにいて、あらゆる宝石があなたをおおっていた。赤めのう、トパーズ、ダイヤモンド、緑柱石、しまめのう、碧玉、サファイヤ、トルコ玉、エメラルド。あなたのタンバリンと笛とは金で作られ、これらはあなたが造られた日に整えられていた。

28:14 わたしはあなたを油そそがれた守護者ケルブとともに、神の聖なる山に置いた。あなたは火の石の間を歩いていた。

28:15 あなたの行いは、あなたが造られた日からあなたに不正が見いだされるまでは、完全だった。

28:16 あなたの商いが繁盛すると、あなたのうちに暴虐が満ち、あなたは罪を犯した。そこで、わたしはあなたを汚れたものとして神の山から追い出し、守護者ケルブが火の石の間からあなたを消えうせさせた。

28:17 あなたの心は自分の美しさに高ぶり、その輝きのために自分の知恵を腐らせた。そこで、わたしはあなたを地に投げ出し、王たちの前に見せものとした。

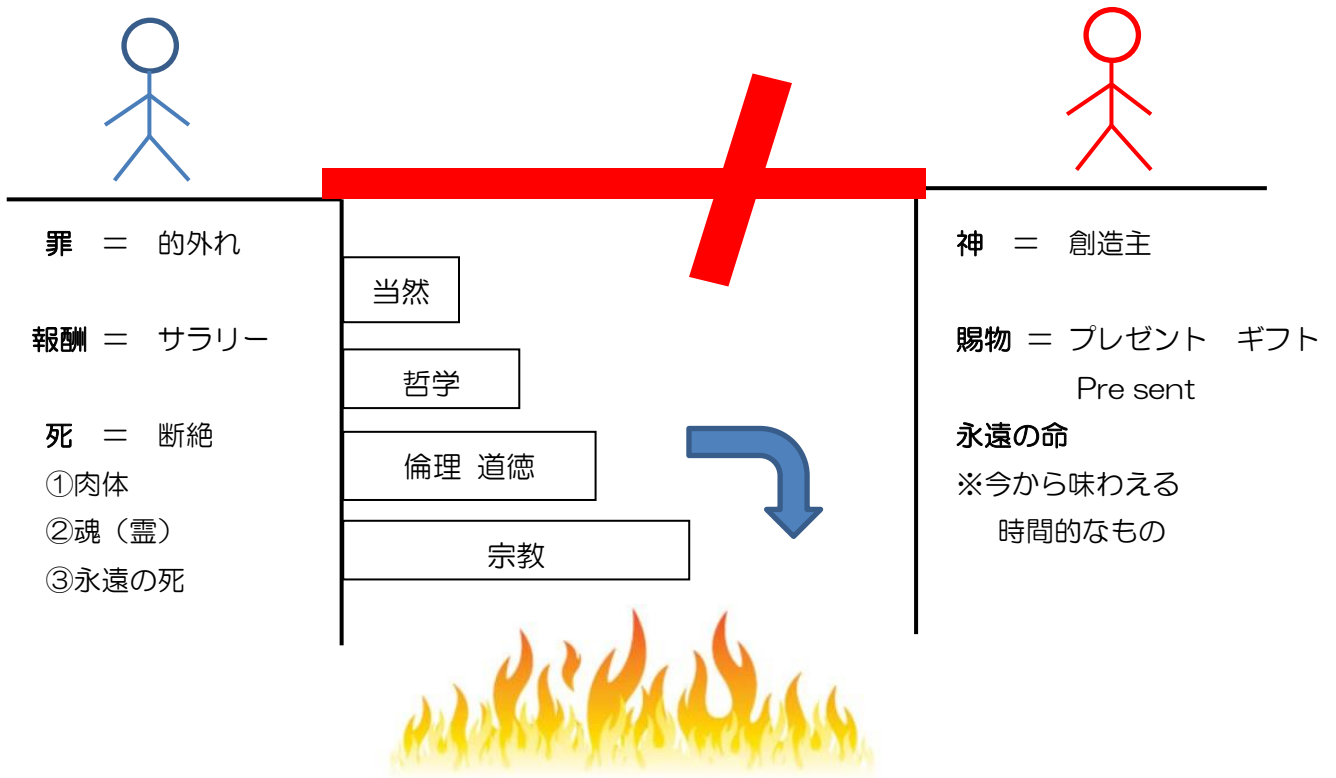


## 14. 結論 宗教とは

レリギオ (つながる 合一) religio ラテン語

罪 ハマルティア (的外れ) ἁμαρτία ギリシア語

罪から来る報酬は死です。しかし 神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。  
(ローマ 6:23)



「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」(ヨハネ 14:6)

哲学的思考では、まことの神を知ることは出来ません。何故なら、人が神を作るからです。私たちが信じる三位一体の神は、人が作ったものではなく、人や釈迦をお造りになられた方です。そもそもベクトルの方向が違っているのです。(悔い改める = メタノエオー)

### ゴール

自力本願を目指す一般的な日本人の精神性を理解し認めつつ、仏教および習慣化されている仏教行事の意味を知り、クリスチャンとして、やるべきことは何かを考え行動する。